

真球体の製作・計測の技術俯瞰と新たな用途の最前線

アメテック(株)テーラーホブソン・ショールーム見学

ダ・ビンチの手稿にもある球軸受は、転動体の真球度向上と共に、低摩擦・高精度運動に加えて長寿命化を達成し小型人工衛星の姿勢制御機器にも使用されています。一方、2018年に実施される新ISO規格改定では、ISOの計量標準の内、唯一とも言えるレプリカ原器基準の質量標準から、長さ・時間と同じ物理定数基準としての²⁸シリコン真球体を用いた質量基準に代わります。これには、我が国も関与しています。これらを踏まえて、真球体の製作・計測の技術的経緯と新たな用途の最前線について話題を提供します。

主催：公益社団法人 砥粒加工学会 次世代固定砥粒加工プロセス専門委員会

日時：2018年4月20日(金) 13:00～17:20

会場：〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 芝 NBF タワー1F 会議室

3F アメテック(株)東京本社オフィス・1F アメテック(株)ショールーム

電話：03-6809-2406 <http://www.taylor-hobson.jp/access.html> (アクセス・案内参照)

交通：JR・浜松町駅から 徒歩 10分 都営三田線・御成門駅から 徒歩 5分

都営大江戸線・大門駅から 徒歩 10分

13:00～13:05	開会挨拶	池野 順一 委員長
13:05～13:20	挨拶	アメテック (株) 東京本社社長 久世 哲士 氏
13:20～14:10	<講演1> 真球創成加工の温故知新	(元)砥粒加工学会会長 芝浦工大 名誉教授 柴田 順二 氏
14:10～15:00	<講演2> キログラムの新しい定義と ²⁸ Si同位体濃縮結晶の評価技術について	産総研 工学計測標準研究部門 質量標準研究グループ長 藤井 賢一 氏
15:00～15:30	<休憩> 同ビル1F アメテック(株) テーラーホブソン・ショールーム 分散見学	
15:30～16:20	<講演3> 高精度非接触三次元形状測定 LUPHO Scan・他	アメテック (株)・テーラーホブソン事業部 田中 真一 氏
16:20～17:10	<講演4> Compass 白色干渉計を使った球面計測	アメテック(株)・ZYGO 事業部 粕谷 卓志 氏
17:10～17:20	閉会挨拶・事務連絡	池野 順一 委員長
17:30～18:00	同ビル1F アメテック(株) テーラーホブソン・ショールーム 分散見学	
18:00～20:00	技術交流会：選定中	

参加費(技術交流会含)：次世代固定砥粒加工プロセス専門委員会会員：無料，非会員：15,000円(1社当り2名まで参加)

申込締切日：2018年4月12日(木)

(注) 申込頂いた方で当日不参加の場合は参加費を請求させていただきますのでご了承ください

問合せ/申込先：当専門委員会事務局 田附宙美 宛

FAX：FAX:048-829-7046, E-mail：sf-office@mech.saitama-u.ac.jp

※申し込み用紙はこちら→<http://spe.mech.saitama-u.ac.jp/mysite5/application2017ver2.pdf>